

令和 7 年度使用中学校教科用図書採択理由

岩手大学教育学部附属中学校

教科名	種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	国 語	教育出版	単元導入時に既習を想起させ、学習の見通しを立てることができる工夫がなされている。また、主体的な学びが展開できる教材配列であり、教材の内容も学習者の興味関心が高まるように配慮されている。
	書 写	教育出版	毛筆と硬筆の両面から学びを振り返ることができるよう教材配列がなされている。また、日常に活かせる書写活動が魅力的に紹介されており、解説や資料提示が丁寧で知識・技能を確実に習得できるように工夫されている。
社 会	社 会 (地理的分野)	帝国書院	各章の終末に、世界や日本の諸地域に存在する地球的課題や地域の課題の解決に取り組む「未来志向の問い」が位置づけられており、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との合意形成を目指す態度を養えるような構成になっている。
	社 会 (歴史的分野)	東京書籍	「問い」を中心に課題解決的な学習を実現できるような構成になっている。また、単元のまとまりを意識し深い学びにつながるよう単元全体を貫く探究課題が設定されており、学習の見通しをもち主体的に学びに向かえるよう工夫されている。
	社 会 (公民的分野)	東京書籍	各単元とも、導入、展開、まとめの構造になっており、単元全体を通して課題解決的な学習が展開されるよう配慮されている。また、現代社会の特徴を社会的な見方・考え方を働かせて考察できるよう工夫されている。
	地 図	帝国書院	豊富なデジタルコンテンツや見やすい資料図から、地域間の結びつきが捉えやすいよう工夫されている。また、様々な視点から地域をとらえることができる資料を配置することで、問題解決的な学習を充実させることができるように配慮されている。
数 学	数 学	東京書籍	「MATH CONNECT」をテーマに、数学と身のまわり、数学と社会、算数と数学などのつながりを感じられる構成となっており、生徒が数学に興味・関心をもち、数学的な見方・考え方を働かせながら、考える力を身につけることができるよう工夫されている。それらの学習を通して、思考力・判断力・表現力等が育まれていくよう配慮されている。また、デジタルコンテンツが充実しており、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着ができるよう工夫されている。
理 科	理 科	東京書籍	探究の過程や探究のステップが丁寧に示されており、単位時間でどのような資質・能力が育成されるのか、生徒にも理解できるような工夫がなされている。また、生徒が意識的に理科の見方・考え方を働かせることができるように、その具体が示されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。

令和 7 年度使用中学校教科用図書採択理由

音 楽	音 楽 (一 般)	教育芸術社	学習目標と学習活動及び音楽を形づくっている要素が各題材に位置づけられており、見通しをもち主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
	音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	学習に対する興味・関心を引き出すための写真やデジタルコンテンツが豊富であり、基礎的な知識・技能の習得を生かした発展的・系統的な学習が展開できるよう工夫されている。
美 術	美 術	日本文教出版	日常生活や社会との関連を図った題材が多く取り上げられている。また、造形的な見方・考え方を働かせるための優れた作品や資料が厳選されている。デジタルコンテンツも充実しており、すべての題材で映像資料が活用できるように工夫されている。
保健体育	保健体育	東京書籍	学習課題を明確に捉え、日常生活との関連で考察したり、活用したりすることができる構成となっており、知識を活用して多面的に思考力・判断力・表現力等を育むことができるよう工夫されている。また、系統性を重視した配列で、生徒が今日的な課題に対して主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。
技術・ 家庭	技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	世の中の事象を技術の見方・考え方の視点から捉える学習で各内容が始まっており、問題解決的に学習が進められるよう工夫されている。また、各内容の終末部では最先端の技術が取り上げられており、自身の問題解決を生かした「社会の発展と技術」について主体的に学びに向かうことができるような構成となっている。
	技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	生活の具体的な場面から問題を見出す工夫で学習意欲をもたせ、学習のゴールまで見通しをもち問題解決的に学習が進められるよう配慮されている。また、科学的根拠に基づく説明や資料を掲載し、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むことができるよう配慮されている。
外国語	英 語	三省堂	生徒が自分事としてとらえやすい多様な題材を通して、日常的な話題や社会的な話題について考えることにより、資質・能力を育成できるよう工夫されている。また、言語活動の配置やデジタル教材の工夫により、生徒がより見通しをもって主体的に学びに向かうことができるよう配慮されている。
道 徳	道 徳	光村図書	全学年の第2教材で「問う」という観点から整理した道徳の学び方を示し、生徒が自ら問いを立てて考えていくことにより、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うことができるよう工夫されている。また、1年間の教材配列を複数教材でまとめたユニットで構成することにより、学校生活と関連した道徳科の学習を行うことができるよう配慮されている。